

文豪ストイレドッグス 小説II



[文豪ストイレドッグス 小説II_下载链接1](#)

著者:朝霧カフカ

出版者:角川ビーンズ文庫

出版时间:2014-8-1

装帧:文庫

isbn:9784041017135

異能を使い暗躍する兇悪な地下組織、ポートマフィア。その幹部・太宰治と下級構成員の織田作、情報員の坂口安吾は立場の違いを超えた仲だった。だがある日、安吾が突如失踪。首領・森鷗外から搜索を命じられた織田作は、太宰と協力して調査を開始するが、安吾のスパイ疑惑が浮上する。さらにミミックなる犯罪組織が攻撃を仕掛けてきて…！？太宰がマフィアと訣別した理由が遂に明らかに！熱き男たちの異能対決第2弾！！

作者介绍:

朝霧カフカ：
愛媛県出身。シナリオライター（本データはこの書籍が刊行された当時に掲載されていたものです）

目录:

[文豪ストイレドッグス 小説II_下载链接1](#)

标签

轻小说

文豪ストイレドッグス

日版

日本轻小说

小说

朝霧カフカ

日本漫画

日本

评论

到后三分之一被织田作虐得不要不要的……想想这么大的几面旗子也是狠心你说好好的拍什么合照啊……再想想史实那句「君はよくやった」真是会心一击再也没有什么治愈系了……

小说是以织田作第一人称写的，想来好像从来没有太宰第一人称的小说？不过某种程度上说这部通过织田的视角，也相当于太宰的自述吧。很喜欢织田，太宰说他是唯一真正理解自己的人，也是唯一的“友人”。虽然织田最后没能救孩子，没能救自己，没能实现退隐后当个小说家的梦想，但却得以救了太宰，不然哪天太宰自杀成功时一定会后悔吧，太宰的“求死”其实是为了“求生”。比起第一部小说，整体上要深刻得多，应该说讲的是关于三个人（太宰，织田，ミミック的长官）对生死的理解吧。摘录：小説を書く事は、人間を書く事だ。人間はどう生きて、どう死ぬべきかという事をな。ならばお前が書け。それが唯一、その小説を完璧なままにしておく方法だ。人の命を奪う者に、人の人生を書く事は出来ない。人は自分を救済する為に生きている死ぬ間際にそれが判るだろう

\\织田作\\织田作\\织田作/

织田作最后还是被安吾坑了

对织田真的感到非常惋惜又畅快。也许他最后选择了属于自己的“救人的那一边”，即使无法完成所有的心愿，但是他拯救了也许会在黑暗中终其一生的太宰。文末我忽然明白了一些似是而非的东西。织田读的书为何没有副本、为何没有下卷、然而下卷为何突然出现并缺页、内容为什么这么像他自己……太宰与夏目漱石，也是奇妙的缘分啊。

※补录 2019.8.10 文豪野犬全系列中的挚爱，个人此生对“情谊”的理解在此转折。朝雾老师写情谊本当上手…!!!（泪）（译本无论如何还是失了些原本的味道…）

[文豪ストイレドッグス 小説II_ 下载链接1](#)

书评

[文豪ストイレドッグス 小説II_ 下载链接1](#)